



Diana Damrau & Nicolas Testé

Opera Aria Concert

ディアナ・ダムラウ & ニコラ・テスト
オペラ・アリア・コンサート

2023年5月23日(火) 19:00 開演 7:00p.m., Tuesday, May 23 at Suntory Hall

2023年5月27日(土) 18:00 開演 6:00p.m., Saturday, May 27 at Suntory Hall

サントリーホール

パーヴェル・バレフ(指揮) Pavel Baleff, Conductor

東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽) Tokyo Philharmonic Orchestra

主催：ジャパン・アーツ 協力：ワーナーミュージック・ジャパン

Kings & Queens of Opera

- G. ロッシーニ : 歌劇《セミラーミデ》より 序曲
Gioachino Rossini : from *Semiramide*: Sinfonia
- G. ロッシーニ : 歌劇《セミラーミデ》より「美しい光が」★
Gioachino Rossini : from *Semiramide*: “Bel raggio lusinghier” (Semiramide)
- A. トマ : 歌劇《ハムレット》より「私は貴男に懇願する、おお、兄上よ!」♠
Ambroise Thomas : from *Hamlet*: “Je t’implore oh mon frère” (Roi Claudius)
- A. アダン : 歌劇《我もし王なりせば》より 序曲
Adolphe Adam : from *Si j’étais roi*: Overture
- P. ハジエフ : 歌劇《マリア・デシスラヴァ》より「偉大なる神よ、私の願いを聞いてください」★
Parashkev Hadjiev : from *Maria Desislava*: “Veliki Bozhe, chui moiata molba”
- C. グノー : 歌劇《シバの女王》より「一人の女性の足元に」♠
Charles Gounod : from *Queen of Sheba*: “Sous les pieds d’une femme” (Le Roi Soliman)
- L. ドリーブ : バレエ《歡樂の王》より ガイヤルド
Léo Delibes : from *Le roi s’amuse*: Gaillarde
- G. ドニゼッティ : 歌劇《マリア・ストゥアルダ》より「私のタルボ!」★♠
Gaetano Donizetti : from *Maria Stuarda*: “O mio buon Talbot!” (Maria Stuarda & Talbot)
-
- G. ヴェルディ : 歌劇《ドン・カルロス》より「ひとり寂しく眠ろう」♠
Giuseppe Verdi : from *Don Carlos*: “Elle ne m’aime pas!”
- G. ドニゼッティ : 歌劇《アンナ・ボレーナ》より「ああ、この純真な若者は」★
Gaetano Donizetti : from *Anna Bolena*: “Come innocente giovane” (Anna Bolena)
- P. I. チャイコフスキー : 組曲 第1番 ニ短調 作品43番より 第6曲 ガヴオット
Pyotr. I. Tchaikovsky : Orchestra Suite No.1 in D minor, Op.43, VI. Gavotte
- P. I. チャイコフスキー : 歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「恋は年齢を問わぬもの」♠
Pyotr. I. Tchaikovsky : from *Eugene Onegin*: “Everyone knows love on earth” (Prince Gremin)
- V. ベッリーニ : 歌劇《ノルマ》より 序曲
Vincenzo Bellini : from *Norma*: Sinfonia
- V. ベッリーニ : 歌劇《ノルマ》より「清らかな女神よ」★
Vincenzo Bellini : from *Norma*: “Casta Diva” (Norma)

★ ディアナ・ダムラウ(ソプラノ) Diana Damrau, Soprano ♠ ニコラ・テスト(バス) Nicolas Testé, Bass
パーヴェル・バレフ(指揮) Pavel Baleff, Conductor 東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

* 客席内での写真撮影および録音は禁止されています。
The photographing or sound recording of this concert or possession of any device for such photography or sound recording is prohibited.



© Chris Singer

ディアナ・ダムラウ(ソプラノ)

Diana Damrau, Soprano

ディアナ・ダムラウは、今日最も定評のある歌手の一人として、過去20年間にわたり確固たる地位を築いており、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、バイエルン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、英国ロイヤル・オペラハウス、カーネギー・ホールなど、世界の有名歌劇場やホールで活躍し続けている。レパートリーは幅広く、《アンナ・ボレーナ》、《ロメオとジュリエット》、《マノン》、《椿姫》のタイトルロール、《魔笛》の夜の女王が挙げられる。

バイエルン国立歌劇場からは2007年に宮廷歌手の称号、2010年にバイエルン・マクシミリアン勲章(科学と芸術)、2021年にはドイツ連邦共和国功労勲章を授与されている。

2005年にデビューしたメトロポリタン歌劇場では自身の数々の持ち役を演じた歌劇場であり、それらの公演はHD映像で世界中の映画館に配信されている。同歌劇場への主な出演は、新演出による《リゴレット》のジルダ、《セヴィリアの理髪師》のロジーナ、《真珠採り》のレイラなどがある。この他にも、これまでに《夢遊病の娘》、《連隊の娘》、そして《ロメオとジュリエット》のタイトルロールを演じた。さらにダムラウは、《魔笛》のパミーナと夜の女王という2つの役を別々の公演で演じたメトロポリタン歌劇場史上初の歌手となった。

現代作品にも多く出演し、イアン・ベル作曲のオペラ《娼婦一代記》やロリン・マゼール作曲の《1984年》など、彼女のために特別に書かれた役を演じている。

ワーナー／エラートと専属契約を結び、モーツァルトやサリエリなどを収録したCD『ブラヴェラ・アリア集』でCDデビューを果たしてからは、エコー賞、OPUSクラシック賞など多くの賞を受賞している。2022年には、カーネギー・ホールにてR. シュトラウス「四つの最後の歌」(ヤンソンス指揮／バイエルン放送交響楽団)を演奏した録音が発売された他、多数のオペラ全曲盤のCDやDVDに登場している。また、オペラ雑誌『Opernwelt』のシンガー・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、2020年からは小惑星に彼女の名がつけられている。

近年では、ロンドンのバービカン・センターなどでレジデント・アーティストに迎えられた他、アジア・南米でペトレンコ指揮／ベルリン・フィルとジルベスター・コンサートで共演している。また、ヨーロッパの最も主要なホールで、テノールのヨナス・カウフマンとピアニストのヘルムート・ドイチュとともに、ヴォルフの「イタリア歌曲集」の公演を行い、さらに2022年の3、4月にも同メンバーでシューマン、ブラームスの愛の歌を演奏した。

2022/23シーズンの初めには、メストレとヨーロッパ・ツアーを行い、新譜のクリスマス・アルバムを披露した他、バーデン＝バーデン・イースター音楽祭では、ペトレンコ指揮／ベルリン・フィルと共に、R. シュトラウス「四つの最後の歌」に取り組んだ。 www.diana-damrau.com

Concerts, Tours & Media Diana Damrau: CCM Classic Concerts Management

www.ccm-international.de

Profile



© Chris Singer

ニコラ・テスト (バス)

Nicolas Testé, Bass

フランス出身。パリでピアノ、バスーン、音楽史を学んだ後、パリ国立オペラの歌手養成コース「アトリエ・リリック」で研鑽を積み、1998年に、声楽コンクール「新しい声」で第2位を受賞した。

メトロポリタン歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ロサンゼルス・オペラ、サンフランシスコ歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、パリ国立オペラ座、サン・カルロ劇場、ジュネーヴ大劇場、ミラノ・スカラ座、フェニーチェ劇場など多くの名高いオペラハウス、また、グラインドボーン音楽祭、オランジュ音楽祭など

のフェスティバルにも定期的に出演している。

レパートリーには、《アウリスのイフィゲニア》のアガメムノン、《ロメオとジュリエット》のロラン神父、《マノン》のデ・グリユー、《ハムレット》のクロード、《イル・トロヴァトーレ》のフェランド、《魔笛》のザラストロ、《カストールとポリュクス》のユピテル、《ファウスト》のメフィストフェレス、《ホフマン物語》の4人の悪役、《セヴィリアの理髪師》のバジリオなど幅広く含まれる。

これまでのシーズンでは、《ラ・ボエーム》のコレリーネでバイエルン国立歌劇場、《カルメン》のスニガでメトロポリタン歌劇場、《サムソンとデリラ》アビメレクでパリ国立オペラ座、《ホフマン物語》の4人の悪役をロサンゼルス・オペラで歌っている。また、バイエルン国立歌劇場では《ランメルモールのルチア》のライモンドで再び登場し、《マリア・スタウアルダ》のタルボをチューリッヒ歌劇場やベルリン・ドイツ・オペラで歌った。同歌劇場にはさらに《ファウスト》メフィストフェレス、そして《ラ・ジョコンダ》のアルヴィーゼ・パドエロで出演した。2018年には、パリ国立オペラ座にて《セヴィリアの理髪師》のバジリオを、オペラ・バステューユでは《ユグノー教徒》のマルセル、メトロポリタン歌劇場では《真珠採り》のヌーラバットを歌うなど世界で活躍する。

2019年には、オペラ・バステューユにて初の《魔笛》のザラストロで絶賛された他、《清教徒》のジョルジオを演じ、さらにバルセロナとベルリン・ドイツ・オペラで演奏会形式にて《ハムレット》のクロードでロール・デビューを飾った。

また、多くのオペラ公演に出演する他にも、国際的に名高いオーケストラとも定期的に共演している。2017年には、今回同様となるソプラノのディアナ・ダムラウとの共演によるアジア・ツアーを行い、オペラ・ガラ・コンサートやリサイタル公演でシンガポール、上海、東京、ソウル、台北、そして北京を訪れた。2018年には、「ヴェルディ・ツァー」の一環として、ヨーロッパの主要なコンサート・ホールで公演を行った。

2021/22シーズンには、リヨン歌劇場で《マノン》のデ・グリユー伯爵、サン・カルロ劇場ではアンナ・ネトレプコとの共演で《アイダ》のランフィス、リセウ大劇場で《ノルマ》のオロヴェーゾ、そしてメトロポリタン歌劇場で《ラ・ボエーム》のコレリーネを歌い、好評を博している。 www.nicolasteste.com

Concerts, Tours & Media Nicolas Testé: CCM Classic Concerts Management
www.ccm-international.de

Profile

パーヴェル・バレフ (指揮者)

Pavel Baleff, Conductor



© Joerg Bongartz

ブルガリア生まれ。18歳でコンサートを初めて指揮し、1993年には最も優れた若手音楽家としてブルガリア放送賞を受賞した。1998年よりドレスデン室内オペラの音楽監督を務め、2003年にはドイツの最高峰の指揮者賞の一つであるパド・ホンブルグ賞を受賞している。

幅広いレパートリーを誇るバレフは、オペラ、バレエ、およびコンサートの指揮者として、チューリッヒ歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス、ハンブルク国立歌劇場、ボリショイ劇場などで活躍している。そこで、アンネ=ゾフィー・ムター、アンナ・ネトレプコ、クラッシミラ・ストヤノヴァ、ディアナ・ダムラウ、エディタ・グルベローヴァ、ヴェッセリーナ・カサロヴァ、ラモン・ヴァルガス、トーマス・ハンブソン、

ニコラ・テスト、ピョートル・ベチャフといった世界的に有名なアーティストと共演を重ねている。

2012年には、ミュンヘン放送管弦楽団とクラッシミラ・ストヤノヴァとの共演で録音した『スラヴ・オペラ・アリア集』により、ドイツ・レコード批評家賞と国際クラシック音楽賞を、2014年には、オルフェオ・レーベルからリリースされたCD『ヴェルディ・オペラ・アリア集』がドイツ・レコード批評家賞を受賞した。ソフィアでは、ブルガリア国立歌劇場での《ニーベルングの指環》により、国内の年間最優秀指揮者に選ばれた。また、「カール・マリア・フォン・ウェーバー・コンクール」で第1位に輝き、「ヘルベルト・フォン・カラヤン財団」から賞を授与された。

これまでのシーズンには、チューリッヒ歌劇場で《レオンスとレーナ》を、モンペリエ歌劇場で《青ひげ公の城》を指揮。その後、《愛の妙薬》でウィーン国立歌劇場にもデビューを飾った後、チューリッヒ歌劇場で客演指揮者として、《スペインの時》や《子供と魔法》などのオペラや、バレエ《白鳥の湖》を指揮した。

2018/19シーズンには、リモージュ歌劇場で《死の都》を指揮した他、チューリッヒ歌劇場で《真珠採り》を指揮した。オペラ作品の他にも客演指揮者として世界で活躍している。2017年には今回同様、ディアナ・ダムラウとニコラ・テストと共にアジア・ツアーを行った他、2018年にはトーマス・ハンブソンのヨーロッパ・ツアーで指揮を執った。

2022/23シーズンよりリモージュ・オペラの音楽監督及び首席指揮者に任命された。2022年9月からはノルトハウゼン劇場、ゾンダースハウゼン・ロー管弦楽団の音楽監督に就任。

2007年から2022年まで、ドイツで最も伝統のあるオーケストラの一つであるバーデン=バーデン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を務めた。その任期終了後も2027年までの5年間、「コンダクター・イン・レジデンス」としてバーデン=バーデン・フィルとの共演が決まっている。 <https://pavel-baleff.de/>

東京フィルハーモニー交響楽団

Tokyo Philharmonic Orchestra

1911年創立の日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもっている。名誉音楽監督はチョン・ミョンフン、首席指揮者はアンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者はミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場などでのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏で高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的に行い、高い注目を集めている。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

オフィシャルウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/>

ロッシーニ：歌劇《セミラーミデ》より序曲／「美しい光が」

ジョアキーノ・ロッシーニ(1792-1868)は、当時のイタリア人でただ一人モーツァルトを敬愛。リズムの規則正しい古典派の「最後の巨匠」として、喜劇のオペラ・ブッフアと、格調高い英雄劇・歴史劇などを扱うオペラ・セリアの両分野でオペラ界を席捲した、19世紀前半の大作曲家である。

本日は、彼のオペラ・セリアの最高傑作《セミラーミデ》(1823)から、二つの聴きどころをご紹介します。セミラーミデは古代バビロニアの女王であり、夫の国王を毒殺して即位したという。ただ、彼女は亡夫との間に息子を儲けていたが、その子が幼いうちに行方不明になったことを悲しんでいた。時が経ち、若き武将アルサーチェを見初めた女王は彼に恋してしまうが、実は、そのアルサーチェこそ、息子の成長した姿であったことで、悲劇の幕が開く。

まずは序曲の演奏から。19世紀の当時、イタリア・オペラの序曲はシンフォニア sinfoniaと呼ばれたが、このシンフォニアは劇中の複数のメロディを繋ぎ合わせた「ポプリ(接続曲)」の構造を採る大曲。指揮者パーヴェル・パレフのきびきびとした棒捌きをお楽しみに。

続いては、第1幕中盤でセミラーミデが、アルサーチェとの再会を待ち焦がれて歌う華麗なアリア〈美しい光が〉。歌手の裁量で装飾音型を幾つも被せ、旋律線の基本形を自由に ― ただし、上品に ― アレンジできるベルカント・オペラの名曲として、ダムラウの鮮やかな声の技と共にじっくりと味わって頂こう。

トマ：歌劇《ハムレット》より「私は貴男に懇願する、おお、兄上よ!」

アンブロワーズ・トマ(1811-96)は、パリ音楽院長も務めたフランス楽壇の実力者。オペラ史ではゲーテ原作の《ミニヨン》(1866)とシェイクスピアの悲劇のオペラ化《ハムレット》(1868)で名を遺すが、本日は《ハムレット》第3幕から国王クローディウスのエール【アリア】が歌われる。王は、暗殺した実兄(先王)の魂に首を垂れ、神の赦しを請う。ちなみに、本作では王妃(主人公の実母)も先王殺しの事実を把握しているので、原作よりもドラマの業が深い。テストの哀感ある声音が際立つ一曲であり、フルート重奏の神秘的な響きにもご注目を。

アダン：歌劇《我もし王なりせば》より序曲

バレエ《ジゼル》で名高いアドルフ・アダン(1803-56)は、オペラ界の隠れた功労者。「新人作曲家にさらなる登竜門を!」と政府に請願書を出し、パリ第3の歌劇場と謳われるテアトル・リリックを作らせた「行動する作曲家」である。オペラでは《ロンジュモーの郵便御者》(1836)が人気だが、次に知名度ある一作が、そのテアトル・リリックで初演の《我もし王なりせば》(1852)。物語は、西洋人に狙われる南西インドの王国の危機を青年漁師が救い、王女と結ばれるというもの。この序曲では、中間部の打楽器の清冽さや終盤部の弦の華々しさをお楽しみに。

ハジエフ：歌劇《マリア・デシスラヴァ》より「偉大なる神よ、私の願いを聞いてください」

オスマン・トルコの支配が長かったブルガリアでは、母国語のオペラ作りは19世紀末に漸く始まったが、中で最も成功した作曲家がパラシケフ・ハジエフ(1912-92)である。未完作を含め、彼は21作のオペラを手掛けたが、全7場からなる《マリア・デシスラヴァ》(1978、ルセ)は13作目にあたり、イスラム教徒に抑圧されるも篤い信仰心を守り抜いた人々を描いている。題名役のマリア・デシスラヴァは14世紀の第2次ブルガリア帝国に実在した王女の名。このアリアで彼女は、死を覚悟しつつ、神の救いを求めて必死に祈る。ダムラウの白銀の声音が輝くさまに聴き入って頂こう。

グノー：歌劇《シバの女王》より「一人の女性の足元に」

瑞々しい旋律美が光るシャルル・グノー(1818-93)。彼の《シバの女王》(1862、パリ・オペラ座)は、知名度の高いアリアやバレエ曲を幾つも含む、佳作と呼びたいオペラ。今回歌われるのは第4幕のソリマン王のカヴァティース。女王が来ないことに苛立つも、王者の矜持は保つべく、三連符を連ねる緩やかな四拍子の上で、美女の魅力に勝てない自らを彼は切々と歌い上げる。なお、締め括りの部分にグノーは二つの選択肢を置いており、テストが難易度の高い方を選んだなら、ヘ音記号の五線譜下のホ(ミの音)が厳かに鳴りわたるだろう。

ドリーブ：バレエ《歓楽の王》より ガイヤルド

フランスの文豪ユゴーの戯曲『歓楽の王(王様はお楽しみ)』(1832)は、体制批判が強すぎ、初演後すぐ上演禁止となったが、後にヴェルディの歌劇《リゴレット》の原作に用いられ、1882年には初演50周年記念で完全復活した。その際、歌劇《ラクメ》やバレエ《 Coppelia》で知られるレオ・ドリーブ(1836-91)が劇付随音楽を提供し、6つの舞曲が後に組曲になった。本日は第6曲〈ガイヤルド〉をお聴き頂こう。ガイヤルドはスピーディーな3拍子のダンス。跳ね飛ぶステップを特徴とし、リズムの刻みが耳を惹く。

ドニゼッティ：歌劇《マリア・ストゥアルダ》より「私のタルボ!」

イタリアの作曲家ガエターノ・ドニゼッティ(1797-1848)は英国にルーツを持つともいわれるが、確かに、彼はブリテン島の物語を好み、この《マリア・ストゥアルダ》もスコットランドの女王メアリーの悲劇を描いている。なお、実在の女王二人(相手はイングランドのエリザベス1世)が対立する筋立てが検閲に拒まれた結果、本作は設定を変えた《ブオンデルモンテ》として初演され(ナポリ、1834)、翌年にミラノで本来の題に戻して披露された。この二重唱(第2幕:版によっては第3幕)は、マリアが忠臣タルボに過去の罪を懺悔し、「贖罪のため死ぬ」と決心する一場。テストの滋味とダムラウの毅然とした表現法をお楽しみに。

ヴェルディ：歌劇《ドン・カルロス》より「ひとり寂しく眠ろう」

ジュゼッペ・ヴェルディ(1813-1901)がパリで初演した全5幕の《ドン・カルロス Don Carlos》(1867)は、フランス語の台本に拠るオペラながら、今はイタリア語訳詞の上演が多く、《ドン・カルロ Don Carlo》の訳題が一般的。しかし、今回は原典のフランス語で歌われる。このアリアは第4幕(4幕版の場合は第3幕)でスペイン国王フィリップ2世が憂いを独白する名場面。新しい妻に愛されず、王子のカルロスの心も掴めぬ権力者の孤独さが、淡々とした旋律美に色濃く滲む。前回のリサイタルで圧倒的な喝采を得たテストの歌いぶりは、明断な発音と柔らかな響きを融け合わせたもの。今回も、解釈の深みをお聴き逃しなく。

ドニゼッティ：歌劇《アンナ・ボレーナ》より「ああ、この純真な若者は」

本作も勿論、イングランド史に名高い王妃アン(アンナ・ボレーナ)の悲劇を描くオペラ。1830年にミラノで初演されたドニゼッティの出世作である。この一曲は、アンナの登場のアリア(第1幕)。国王エンリーコの心が離れつつあると感じる一方で、彼女は、若い日の恋人の面影が忘れられない胸中を独白。高い地位を得ても満たされぬ女心がじっくりと歌われる。前半で抒情性を十分に表し、後半ではコロラトゥーラの肌理細やかなフレーズを力強く歌い上げるダムラウの、飛び切りの歌の技をご堪能あれ。

歌詞対訳

チャイコフスキー：組曲 第1番 ニ短調 作品43番より 第6曲 ガヴォット

帝政ロシアの作曲家ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー（1840-93）の名は、交響曲《悲愴》やバレエ《白鳥の湖》で御馴染みだが、作風には西欧的な色彩が強い。フランス語に秀で、青年期からたびたび欧州を訪れた彼だけに、その楽才には自国の風土を愛する心と他国の文化に親しむ姿勢が絶妙なるバランスで共存する。この《組曲第1番》（1879）の第6曲〈ガヴォット〉も、四拍子のフランス古典舞曲のリズムに基く佳曲。弦のピツィカートの飄々とした風情と中間部のバロック的なメロディをお楽しみに。

（訳：井内百合子）

チャイコフスキー：歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「恋は年齢を問わぬもの」

チャイコフスキーのオペラの代表作は、やはり文豪プーシキンの韻文小説に基づく《エフゲニー・オネーギン》(1879)だろう。このアリアは、第3幕の夜会の場で大貴族グレーミン老公爵が歌うもの。彼は若い妻を迎えた嬉しさを素直に口にするが、その妻こそは、かつてオネーギンがすげなくしたタチヤーナ。この「人生の皮肉」が場面の背景となる。本日は、滑らかな旋律美に沿うテストの柔和な歌いぶりにご注目を。

（訳：井内百合子）

ベッリーニ：歌劇《ノルマ》より序曲／「清らかな女神よ」

耽美的なメロディづくりを得意としたヴィンチェンツォ・ベッリーニ（1801-35）。シチリア島生まれの作曲家だが、中でもオペラ《ノルマ》（1831）は、主人公ノルマ（古代のドルイド教の巫女）の歌が余りに難しく、ソプラノに対し、「この役を歌えてこそ、ベルカントの名手」と認識する聴き手が昔から多い。

それではまずは序曲（シンフォニア）から。この曲も接続曲の形を採り、処女であるはずの巫女なのに、実は、敵方ローマの大將との間に密かに子供を儲けたというノルマの不安な胸の内が、嵐のように表現されてゆく。

そして、本日の掉尾を飾る一曲として、第1幕の主人公登場のアリア〈清らかな女神よ〉を。月の女神に祈るノルマは、ゆっくりした曲調のもと、音符の連なりを極めて細やかに歌い繋ぐことで「巫女の神性」を発揮する。練り上げた声の技を持ち、息の力に余裕のある大ソプラノだけが乗り切れるこの難曲で、ダムラウの芸術性の真骨頂を堪能頂こう。

（訳：井内百合子）

Gioachino Rossini from *Semiramide*: “Bel raggio lusinghier”

Semiramide

Bel raggio lusinghier di speme e di piacer alfin per me brillò: Arsace ritornò, sì, a me verrà.

原曲の楽譜

Quest'alma che finor gemé, tremò, languì... Oh! come respirò! - Ogni mio duol spari, dal cor, dal mio pensier si dileguò il terror...

原曲の楽譜

Bel raggio lusinghier di speme, di piacer alfin per me brillò: Arsace ritornò, qui a me verrà. -

原曲の楽譜

La calma a questo cor Arsace renderà: Arsace ritornò, qui a me verrà...

原曲の楽譜

Dolce pensiero di quell'istante, a te sorride l'amante cor.

原曲の楽譜

Sì, come più caro, dopo il tormento, è il bel momento di pace e amor!

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

Ambroise Thomas from *Hamlet*: “ Je t'implore oh mon frère”

Roi Claudius

Je t'implore, o mon frère! Si tu m'entends, si tu me vois, apaise la colère de Celui que juge les rois! Ah! Vains efforts! Espérance insensée! Ma voix et mes regards vont au ciel, ma pensée rampe sur la terre!... Dieu ne m'écoute pas! Ma pensée rampe sur la terre! Hélas! Dieu na m'écoute pas! Hélas!..

（訳：井内百合子）

ジョアキーノ・ロッシーニ 歌劇《セミラーミデ》より「麗しい光が」

セミラーミデ

喜ばしく麗しい一筋の光が 希望と喜びの光が ついに 私に輝いた アルサーチェが戻ってきた　そして 私の許へ来るでしょう

原曲の楽譜

この心は 今まで 嘆き 恐れ 憔悴していたけれど どんなに ほっとしたことか! 私のあらゆる悲嘆は消え失せ この心と頭から 恐怖は消え去った…

原曲の楽譜

喜ばしく麗しい一筋の光が 希望と喜びの光が ついに私に輝いた アルサーチェが戻ってきた　彼は 私の許へ来るでしょう

原曲の楽譜

アルサーチェが この心に 安らぎを返してくれるでしょう アルサーチェが戻ってきた　彼は 私の許へ来るでしょう…

原曲の楽譜

その瞬間を思う甘美な期待が おまえに微笑みかけているわ　恋する私の心よ

原曲の楽譜

苦しんだ後には いっそう愛しいもの 安らぎと愛の優しい瞬間は!

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

アンブロワーズ・トマ 歌劇《ハムレット》より「私は貴男に懇願する、おお、兄上よ!」

王 クローディウス

私はあなたに懇願します おお わが兄よ! 私の声が聞こえるなら 私の姿が見えるなら どうか怒りを静めてください 王をも裁く神々の怒りを… ああ 無駄な努力 馬鹿げた望み わしの声と眼差しは天へと向かえど わしの考えは地を這ったまま… 神はわしの願いを聞きはしない わしの考えは地を這ったまま… ああ 神はわしの願いを聞きはしない ああ

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

原曲の楽譜

（訳：山下賢司）

Parashkev Hadjiev

from *Maria Desislava*:

“**Veliki Bozhe, chui moiata molba**”

Maria Desislava

Veliki Bozhe, chui moiata molba!
zagubvam veche razum I ne znam
za pomosht kogoda molia tuk!
Vikam te s nadezhdite si Bozhe moi.
Smili se Bozhe, nad moita uchast!
az znaia, è dobar si I velik I vsichko mozhesh,
Bozhe moi!
Da mozheh da zaspia, o, da mozheh da zaspia!
Za seten pyt pone v sania da vidia Miroslav!
Goliamata si maka da mu kazha,
togaz spokoino bih se prostila s tozi sviat...

Veliki Bozhe, chui moiata molba!
Zagubvam veche razum i neznam
za pomosht kogo da molia tuk!
Vikam te s vazdishkite si Bozhe moi.
Smili se Bozhe nad moita uchast!
Az znaia, che velik si I dobar I vsichko mozhesh,
Bozhe moi!

~~~~~

### Charles Gounod

from *Queen of Sheba*: “**Sous les pieds d’une femme**”

### Le Roi Soliman

Oui, depuis quatre jours, hommes d'armes,
lévites,
Tout veille, tout est prêt;
- la flamme est sur l'autel;
Et quand l'heure est venue, au moment solennel,
Oh perfide Balkis, tu me fuis, tu m'évites !...

Tu ris de la crédulité
De ce cœur amoureux par tes charmes dompté !
Sous les pieds d'une femme,
Abaissant de son âme
La royale fierté,
Soliman, ô folie !
S'incline et s'humilie devant ta volonté !
S'il s'armait cependant de son pouvoir suprême,
S'il se lassait d'attendre et d'espérer en vain,
S'il faisait seulement un signe de la main,
S'il s'éveillait!... Mais non... il rêve encore!
Il t'aime ! Aujourd'hui ton esclave,
Et ton époux demain!

~~~~~

Gaetano Donizetti

from *Maria Stuarda*: “**O mio buon Talbot!**”

Maria Stuarda & Talbot

MARIA

O mio buon Talbot!

ПараШкеФ·ҺадЖеФ

歌劇《**マリア・デシスラヴァ**》より

「**偉大なる神よ、私の願いを聞いてください**」

マリア・デシスラヴァ

偉大なる神よ　私の願いを聞いてください
理性を失った私はここで
誰に助けを求めればいいかわかりません
我が神よ　願いを込めてお呼びします
哀れな私の運命に御慈悲をお与えください
あなたの良心と堪能を信じております
我が神よ!
眠りに落ちることができれば　眠りに落ちることさえできれば!
最後でいい…　夢の中でミロスラフに会いたい
私の悲しい思いを彼へ伝えれば
安心してこの世とお別れができるでしょう

偉大なる神よ　私の願いを聞いてください
理性を失った私はここで
誰に助けを求めればいいかわからない!
我が神よ　願いを込めてお呼びします
哀れな私の運命に御慈悲をお与えください
あなたは良心で堪能であることを確信しています
我が神よ!

~~~~~

### シャルル・グノー

歌劇《**シバの女王**》より「**一人の女性の足元に**」

### 王 ソリマン

そう 4日もの間 兵士も レビ人も
皆が集い 準備は整った 情熱の炎を祭壇に灯して
それなのに 厳粛なその瞬間が来たら
おお 不実なバルキスよ お前はわしを避け 逃げたのだ

お前は軽率だと笑うのか?
その魅力に飼いならされ 愛に溢れるわしの心を…
女の足元に
魂に宿る 王としての誇りを
捧げてしまうとは
ソリマン おお なんたる狂気
お前の意向を前に 身を屈め ひれ伏すとは
だが もしも わしが武力を結集するなら
虚しく待ちわびることに飽いて
わずかに手を動かし 合図するなら
ついに目覚めるなら… いや まだ夢見ておこう
お前を愛しているのだ 今日はまだ お前の奴隷でも
明日はお前の 夫となるのだから

~~~~~

ガエターノ・ドニゼッティ

歌劇《**マリア・ストゥアルダ**》より「**私のタルボ!**」

マリアとタルボ

マリア

おお わが良き友タルボ!

TALBOT

Io chiesi grazia ad Elisabetta di vederti
pria dell'ora di sangue.

MARIA

Ah! sì, conforta,
togli quest'alma all'abbandono estremo.

TALBOT

Eppur con fermo aspetto quell'avviso feral
da te fu accolto.

MARIA

Oh Talbot! il cor non mi leggesti in volto?
Egli tremava.
E Leicester?

TALBOT

Debba venirme spettator
del tuo destino;
la Regina l'impone.

MARIA

Oh l'infelice!
A qual serbato fia doloroso castigo!
E la tiranna esulterà.
Ne ancora, ancora piomba l'ultrice folgore.

TALBOT

Deh! taci.

MARIA

Tolta alla Scozia, al trono,
ed al mio culto, presso colei
volli un asil di pace,
ed un carcer trovai.

TALBOT

Che favelli?
Non ti concesse Iddio sollievo a' mali?

MARIA

Ah no, Talbot, giammai.
Delle mie colpe lo squallido fantasma
fra il cielo e me
sempre, sempre si pone,
e i sonni agli estinti rompendo,
dal sepolcro evoca la sanguigna ombra d'Arrigo.
Talbot, la vedi tu?
Del giovin Rizzio ecco l'esangue spoglia?

TALBOT

Ah, riconforta lo smarrito pensier.
Già t'avvicini ai secoli immortali.
Al ceppo reca puro il tuo cor
d'ogni terreno affetto.

MARIA

Sì, per lavar miei falli
misto col sangue scorrerà il mio pianto;
ascolta; io vuò deporli
a piè di questa croce!

TALBOT

Spera!

MARIA

Ah, dal cielo scende la tua voce!
Quando di luce rosea
il giorno a me splendea,
quando fra lieti immagini

タルボ

処刑前に あなたにお会いする許しを
エリザベッタ女王に願いました

マリア

ああ! そう 慰めてください
この魂を 最期の孤独から救ってください

タルボ

あなたは 死を告げる知らせを
落ち着いて聞いておられた

マリア

おお タルボ! 私の心は顔に表れていませんか?
心は慄いていたのです
それで レスターは?

タルボ

彼は あなたの処刑の場に
立ち会わねばなりません
女王が そう命じました

マリア

ああ 不幸な人!
それは彼にとって辛い罰となるでしょう
そして あの暴君は喜ぶでしょう
なのにまだ 裁きの稲妻は落ちぬのか

タルボ

ああ! 黙って

マリア

スコットランドからも 王座からも
信仰からも遠ざけられ 私は彼女の許に
平和な隠れ家を求めたのに
ここで見出したのは牢獄だった

タルボ

何を言われるのです?
神は あなたの不幸に 慰めを与えられたのでは?

マリア

ああ いいえ タルボよ 決して!
私の罪の恐ろしい幻が
天と私との間に
常に立ちふさがってきました
そして 死者たちの眠りを破って
アッリーゴの血まみれの亡霊を 墓から呼び起こすのです
タルボ あれが見えますか
あの若者 リッツィオの血の気の失せた亡骸が…

タルボ

動揺したお心を鎮めてください
すでに 死の時が迫っています
地上の情愛を捨てた 清らかな心で
処刑台へ赴いてください

マリア

ええ 私の過ちを洗い流すために
私の血と涙が 共に流れるでしょう
聴いてください 私はこの十字架の下に
すべての情愛を置いていきたいのです

タルボ

祈りなさい!

マリア

ああ あなたの声は天の声のようです!
日々が バラ色の光に
輝いていた時
この心が 喜ばしい夢の中で

quest'anima godea,
amor mi fè colpevole,
m'apri l'abisso amor.
Al dolce suo sorridere
odiava il mio consorte;
Arrigo! Arrigo! ahi! misero,
per me soggiacque a morte,
ma la sua voce lugubre
mi piomba in mezzo al cor,
in mezzo al cor, ah!
Ombra adorata, ah! placati,
nel sen la morte io sento.
Ti bastin le mie lagrime,
ti basti il mio tormento.

TALBOT

Ah! da Dio perdono, o misera,
implorerò per te, per te.

MARIA

Perdona a' lunghi gemiti
e prega il ciel per me.

TALBOT

Un'altra colpa a piangere
ancor ti resta.

MARIA

Ahi! quale?

TALBOT

Unita eri a Babington?

MARIA

Ah! taci: fu error fatale!

TALBOT

Pensa ben che un Dio possente
è de' falli punitore,
che al suo sguardo onniveggente
mal s'asconde un falso core.

MARIA

No! giammai sottrarsi al cielo
si potrebbe il mio pensiero;
ah, pur troppo un denso velo
ha fin'or coperto il vero.
Si, morendo il giura un core,
che da Dio chiede pietà.
Lo giuro a Dio! lo giuro a Dio!

TALBOT

Il perdono del Signore
sul tuo capo scende già.

MARIA

Si ...sì.

TALBOT

Lascia contenta al carcere
quest'affannosa vita,
andrai conversa in angelo
al Dio consolator.
E nel più puro giubilo
l'anima tua rapita,
si scorderà de' palpiti
ch'hanno agitato il cor.

MARIA

Or che morente è il raggio
della mia debil vita,

幸福であった時
愛が 私を罪人と為し
私に 地獄の扉を開いたのです
愛の甘い微笑みゆえに
私は夫を憎みました
アッリーゴ! ああ! 不幸な人は
私のために命を落とした
けれど 彼の痛ましい声は
この心に のしかかっている
今も この心の中に ああ!
愛しい亡霊よ 鎮まってください
もう この胸に死を感じています
私の涙 私の苦しみで
満足して 心を鎮めてください

タルボ

ああ 不幸な方よ あなたのために
神に許しを願いましょう

マリア

この長い嘆きを許して
私のために天に祈ってください

タルボ

涙を流すべき罪が
まだ一つあるのではないですか?

マリア

ああ! どんな罪が?

タルボ

バビントンの陰謀に関わられたのでは?

マリア

ああ やめて! それは恐ろしい誤解です

タルボ

よくお考えください 力ある神は
罪に罰を下す者であり
すべてを見通す その眼差しからは
どんな偽りも隠せぬことを

マリア

そう 私の心が天の目を逃れることは
決して出来はしません
ああ 悲しいことに 今までは
厚いヴェールが真実を隠していました
死を前に 神に慈悲を乞うこの心は
私の言葉が真実だと誓います
神かけて それを誓います!

タルボ

主の許しが すでに
あなたの頭上に降りています

マリア

ええ… ええ

タルボ

悩み多い生を この牢獄に残して
満ち足りた心でお行きなさい
天使となって
慰めをもたらす神の御許に行くのです
あなたの魂は
至純の喜びに陶醉し
心をかき乱していた
苦悩のすべてを忘れるでしょう

マリア

私の儂い生の光が
消えようとしている今

il cielo sol può render
la pace al mesto cor.
Ah! se di troppe lagrime
quest'alma fu nudrita
versino i lunghi palpiti
nell'ultimo dolor.

TALBOT

Dunque innocente?

MARIA

Vado a morir.

TALBOT

Infelice! Innocente tu vai a morir.

MARIA

Si, innocente, lo giuro, io vado a morir.

TALBOT

Ah! Lascia contenta al carcere, ecc.

MARIA

Ah! Se di troppe lagrime, ecc.,

MARIA

Ah! Se di troppe lagrime, ecc.,

MARIA

Ah! Se di troppe lagrime, ecc.,

MARIA

Ah! Se di troppe lagrime, ecc.,

PHILIPPE II.

Elle ne m’ aime pas! Non!
Son cœur m’ est fermé,
Elle ne m’ a jamais aimé!
Je la revois encor,
Regardant en silence
Mes cheveux blancs,
Le jour qu’ elle arriva de France.
Elle ne m’ aime pas!
Où suis-je? Ces flambeaux
Sont consumés.
L’ aurore argente ces vitraux,
Voici le jour!
Hélas! Le sommeil salutaire,
Le doux sommeil a fui
Pour jamais ma paupière!
Je dormirai dans mon manteau royal,
Quand sonnera pour moi l’ heure dernière,
Je dormirai sous les voûtes de pierre
Des caveaux de l’ Escorial!
Ah! Si la Royauté nous donnait le pouvoir
De lire au fond des cœurs où Dieu
Seul peut tout voir!
Ah! Si le Roi dort, la trahison se trame,
On lui ravit sa couronne et sa femme!
Je dormirai dans mon manteau royal,
Quand aura lui pour moi l’ heure dernière,
Je dormirai sous les voûtes de pierre
Des caveaux de l’ Escuria!
Ah! Si la Royauté nous donnait le pouvoir
De lire au fond des coeurs!
Elle ne m' aime pas! Non!
Son coeur m' est fermé,
Elle ne m' aime pas!

天だけが この悲しい心に
安らぎを与えてくれます
ああ! この心が
あまりにも多くの涙で育まれてきたのなら
最期の苦しみの時に
長い苦悩を吐き出せるように!

タルボ

では 罪なき身で?

マリア

私は 死に赴きます

タルボ

不幸な方だ! 罪なき身で死に赴かれるとは

マリア

そう 誓います 罪なき身で 私は死に赴くのです

タルボ

ああ! 満ち足りた心でお行きなさい…etc.

マリア

ああ! あまりにも多くの涙で…etc.

MARIA

Ah! Se di troppe lagrime, ecc.,

MARIA

Ah! Se di troppe lagrime, ecc.,

MARIA

Ah! Se di troppe lagrime, ecc.,

PHILIPPE II.

王妃は わしを愛しておらぬ
彼女の心は 閉じられたまま
一度たりとも わしを愛したことなどない
今もまだ 目に焼きついている
フランスからやって来た あの日
黙ったまま わしの白髪を
見つめていた 彼女の姿が…
王妃は わしを愛しておらぬ
ここはどこだ? 燭台の灯も
燃え尽きたか
夜明けが 窓を銀色に染め
夜が明ける
ああ 癒しの眠り
心地よい眠りは わしの験から
永遠に去ってしまった
このわしが 国王のマントに包まれて
眠るのは 最期の時が訪れてから
石の丸天井の下 エスコリアルの
王家の墓所で 眠るときだけ
ああ 王位に就けば 神のみが知るという
人の心の奥底を
読めるようになるのなら
ああ 王が眠れば 陰謀が仕組まれて
王冠ばかりか 王妃までもが奪われる
このわしが 国王のマントに包まれて
眠るのは 最期の時が訪れてから
石の丸天井の下 エスコリアルの
王家の墓所で 眠るときだけ
ああ 王位に就けば 人の心の奥底を
読めるようになるのなら
王妃は わしを愛しておらぬ
彼女の心は 閉じられたまま
王妃は わしを愛しておらぬ

MARIA

Ah! Se di troppe lagrime, ecc.,

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 井内百合子)

(訳: 山下賢司)

(訳: 山下賢司)

Gaetano Donizetti
from *Anna Bolena*: “Come innocente giovane”

Anna Bolena

(Come, innocente giovane,
Come m'hai scosso il core!
Son calde ancor le ceneri
del mio primiero amore!
Ah! non avessi il petto
aperto ad altro affetto
io non sarei sì misera,
nel vano mio splendor.)
Ma poche omai rimangono
Ore di notte, io credo.

Signori, io vi congedo.
È vana speme attendere,
che omai più giunga il re.
Andiam, Seymour.

~~~~~

~~~~~

~~~~~

**Pyotr. I. Tchaikovsky**  
**from *Eugene Onegin*: “Everyone knows love on earth”**

**Prince Gremin**

Lyubvi vse vozrasty pokorny,  
Eyo poryvy blagotvorny.  
I yunosye v rastsvete let, edva uvidevsyemu svet,  
I zakalyonnomu sud'boi boitsu s sedoyu golovoi.  
Onegin, ya skryvat' ne stanu -  
Bezumno ya lyublyu Tatiyanu.  
Tosklivo zhizn' moya tekla,  
Ona yavilas' i zazhigla,  
Kak solntsa luch sredi nenast'ya,  
Mne zhizn' i molodost', da, molodost' i shchastie.

~~~~~

Sredi lukavykh, malodushnykh,
Syal'nykh, balovannykh detei,
Zlodeekh i smeshnykh, i skuchnykh,
Tupykh privyazchvykh sudei.
Sredi koketok bogomol'nykh,
Sredi kholopov dobrovol'nykh,
Sredi vsednevnykh modnykh stsen,
Uchtiyykh laskovykh izmen.
Sredi kholodnykh prigovorov,
Zhestkoserdnoi suety,
Sredi dosadnoi pustoty,
Rasshotov, dum i razgovorov,
Ona blistaet, kak zvezda,
Vo mrake nochi v nebe chistom
I mne yavlyaetsya vsegda
V siyan'i angela, v siyan'i angela luchistom

~~~~~

Lyubvi vse vozrasty pokorny  
Eyo poryvy blagotvorny.  
I yunoshe v rastsvete let, edva uvidevsyemu svet,  
I zakalyonnomu sud'boi boitsu s sedoyu golovoi.

~~~~~

Onegin, ya skryvat' ne stanu -
Bezumno ya lyublyu Tatiyanu.
Tosklivo zhizn' moya tekla,
Ona yavilas' i zazhigla.
Kak solntsa luch sredi nenast'ya
I zhizn', i molodost', da molodost' i shchastie
I zhizn', i molodost', i shchastie.

~~~~~

※ 歌詞はロシア語をアルファベット表記したものを掲載しています。

**ガエターノ・ドニゼッティ**  
**歌劇《アンナ・ボレーナ》より「ああ、この純真な若者は」**

**アンナ・ボレーナ**

(純真な若者よ おまえの歌は  
なんと この心を揺さぶったことか!  
私の初めての愛の灰は  
まだ熱を失っていない  
ああ! もし この胸を  
他の情愛に開いていなかったなら  
私は この空虚な栄華の中で  
こんなにも惨めではないだろうに)  
けれどもう 夜の時間も  
残り少ないようね

皆様 本日はこれで  
国王陛下がいらっしゃるのを  
お待ちしても もう無駄でしょう  
行きましょう セイモー

~~~~~

~~~~~

~~~~~

ピョートル・チャイコフスキー
歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「恋は年齢を問わぬもの」

グレーミン

恋は年齢を問わぬもの
恋焦がれる想いは、有意義なもの
世間を知ったばかりの洋々たる若者にとっても
人生に鍛え抜かれた白髪の戦士にとっても
オネーギン 隠さずに言おう
私はタチアナを熱愛している
ただ空しく流れていた人生に
彼女が現れ 灯してくれた
雨天に射し込む陽の光
命と若さの灯を そう 若さと幸せの灯を

~~~~~

目につくのは 悪賢く意気地なしで  
無鉄砲 わがままな子供たち  
非常識で取るに足りぬ  
浅はかで小うるさい判事たち  
神にすがる浮気女たち  
身勝手な下僕たち  
流行りに乗った日々のいさかいや  
折り目正しく優しい気な裏切りの中で  
冷酷な宣言や  
無情に連なる日常の些事の中で  
忌々しい空虚  
打算 思惑 論議の中で  
彼女は星のごとく輝いている  
闇に包まれた澄んだ夜空に  
私にとっていつも彼女は  
天使の輝きに満ちているのだ

~~~~~

恋は年齢を問わぬもの
恋焦がれる想いは 有意義なもの
世間を知ったばかりの 洋々たる若者にとっても
人生に鍛え抜かれた 白髪の戦士にとっても

~~~~~

オネーギン 隠さずに言おう  
私はタチアナを熱愛している  
ただ空しく流れていた人生に  
彼女が現れ 灯してくれた  
雨天に射し込む陽の光  
命と若さの灯を そう 若さと幸せの灯を  
命と 若さと 幸せを

~~~~~

~~~~~

(訳:小賀明子)

**Vincenzo Bellini**  
**from *Norma*: “Casta Diva”**

**Norma**

Casta Diva, che inargenti  
queste sacre antiche piante,  
a noi volgi il bel sembiante  
senza nube e senza vel...  
Tempra, o Diva  
tempra tu de’ cori ardenti,  
tempra ancora lo zelo audace.  
Spargi in terra quella pace  
che regnar tu fai nel ciel...

~~~~~

Fine al rito : e il sacro bosco
sia disgombro dai profani.
Quando il Nume irato e fosco
chiegga il sangue dei Romani,
dal druidico delubro
la mia voce tuonerà.

~~~~~

~~~~~

~~~~~

( Ma, punirlo il cor non sa. )  
( Ah! bello a me ritorna  
del fido amor primiero;  
e contro il mondo intiero  
difesa a te sarò.  
Ah! bello a me ritorna  
del raggio tuo sereno;  
e vita nel tuo seno  
e patria e cielo avrò.  
Ah! riedi ancora qual eri allora,  
quando il cor ti diedi allora,  
ah, riedi a me! )

**ヴィンチェンツォ・ベッリーニ**  
**歌劇《ノルマ》より「清らかな女神よ」**

**ノルマ**

この聖なる森の古き木々を  
銀に染める 清らかな女神よ  
雲にもヴェールにも隠さずに  
その美しき顔を 我らに向けたまえ  
鎮めたまえ おお 女神よ  
猛る者たちの心を鎮めたまえ  
果敢な熱情を和らげたまえ  
あなたの治める天界で かくあるごとく  
地上に平和をもたらしたまえ

~~~~~

儀式は終わった 聖なる森が
異教徒に汚されることの無きように!
恐るべき怒れる神が
ローマ人たちの血を求める時には
ドルイドの神殿から
私の声が 雷鳴のごとく轟くだろう

~~~~~

あの総督は倒れるだろう  
私には あの男を罰することができる  
(けれど この心は彼を罰することができない)  
(ああ かつての誠実な愛の美しい日々が  
私に戻ってきますように  
そうすれば 全世界を敵にしても  
私は あなたを守るでしょう  
あなたの優しい愛の輝きが  
私に戻ってきますように  
そうすれば 私は あなたの胸の中に  
命と祖国と神を見出すでしょう  
ああ 私が心を捧げたあの時の  
かつてのあなたに戻って  
私の許に戻ってきて!)

~~~~~

~~~~~

(訳:井内百合子)